

障害福祉サービス事業所のお仕事～（市内の福祉の現場で働いてみませんか？）～

○障害者自立支援協会とは

障害者自立支援協会は、学識経験者や地域の障害福祉サービス事業所の職員で構成され、地域の関係機関等と緊密に連携を図り、地域の実情に応じた支援体制について協議を行い、整備を図ることを目的としています。

今回は、現在地域で課題となっている福祉人材の確保の取り組みの1つとして、市内の障害福祉サービス事業所のお仕事をご紹介します。

福祉現場の仕事に興味がある方、福祉現場で働きたい方など、福祉に興味のある方からのご相談をお待ちしております。障害者自立支援協会は、地域で従事する方々の人材育成につながる研修等を企画し、支援力向上につながるよう応援しています。市内の障害福祉サービス事業所一覧については、市のホームページをご覧ください。



問1 仕事内容と福祉業界に転職をされた理由を教えてください。

6歳までの重症心身障害児が通う施設で看護師として働いています。登園時にお子さんの健康チェック、必要時に医療的ケアを行います。保護者からの健康相談や職員全体の感染症対策など、施設全体の健康管理等も担っています。

以前は小児の病院に勤めていましたが、限られた時間の中で看護師としての業務をこなすことで精一杯でした。また、夜勤があり体力的にも大変だったこともあり、転職しました。

社会福祉法人いずみ「ひまわり」
平野雅彦さん（看護師）

問2 どのような時にやりがいを感じますか。

一人ひとりのお子さんの生活が充実したものになるよう丁寧に介入できる時、また、親御さんに施設での様子を知ってもらうことなどを通して、親御さんが子に対してより愛情深くなる時など、お子さんや親御さんの変化にじっくり関われることにやりがいを感じています。



社会福祉法人山鳩会「幼児室ポッポ」
堀井晶子さん

問1 仕事内容、家庭と仕事を両立する秘訣を教えてください。

就学前の、言葉や発達のゆっくりなお子さんや過敏で大きな集団が苦手なお子さん等が通う施設で働いています。一緒に遊びながら、本人がその時にしたいこととことん付き合うことで、人への信頼感が育ち、人から学んだり、助けられやすい子になることをめざしています。

家庭との両立については、どちらも楽しくやること、完璧にしようとしなくていいことだと思います。実家が遠いのですが、子どもが病気の時には、職場の休暇制度や市の病児保育制度を利用しました。

問2 どのような時にやりがいを感じますか。

私との間で、子どもが取り繕わない本来の感情を出してくれるようになった時や、過敏な子がやっと抱っこさせてくれるようになった時に、信頼してくれたのかなと思ひ、とても嬉しくやりがいを感じます。卒業後に、保護者の方から報告を受けた時にも、少しでもお役に立てたのかなと嬉しく思います。



問1 仕事内容と福祉業界に就職をした理由を教えてください。

精神障害の方が通う作業所で、紙袋の作成や古紙回収等の作業のお手伝いの他、利用者さんが料理を覚えるために行っている昼食づくりも一緒に行っています。利用者さんの悩みを聞くことも仕事です。

過去に福祉施設の見学に行き、職員が生き生きと働いている姿に魅力を感じました。しかし福祉業界で働くには覚悟が必要と思ひ、別の仕事に就きました。その後妻の勧めもあり、やりたいことを考えた結果、縁あってこちらで働くことになりました。

特定非営利活動法人「けやき第一作業所」
藤倉典史さん

問2 どのような時にやりがいを感じますか。

支援を続ける中で、調理の仕方など、今までできなかったことができるようになった瞬間に立ち会えた時や、就職の相談を受けていた方に希望の仕事が見つかった、一緒に喜び合えた時です。また、今日はどんな様子かな？と毎日お会いすること自体が楽しみです。精神障害の方に関してあまりいいイメージがなかったですが、実際に接すると裏表がなく純粋で、正直な人と人との関わりがもてるのがとても魅力的です。



特定非営利活動法人「カルティエおばさん」
佐藤智子さん

問1 仕事内容と福祉業界に転職をされた理由を教えてください。

NPOの代表として経理や運営の仕事のほか、掃除や調理、買物などヘルパーとしても活動しています。

もともと子どもやお年寄りが好きでしたが、数字も好きだったので銀行に就職しました。結婚し家庭に入りましたが、「主婦の延長でできる」と勧められ、資格を取り、ヘルパーとして働いて20年以上になります。年齢問わず関わる機会があるので、結果的に自分のしたかったことができている。細切れの時間で働けるなど時間的な融通が利くので、3人の子育てや家庭との両立がしやすかったです。

問2 どのような時にやりがいを感じますか。

お手伝いしたことで、利用者さんが喜んでくれた時です。日常的な会話だけでも喜んでもらえますし、家事が好きなので、その方の家をきれいにするのも楽しいです。家でやっている家事を生かせることや利用者さんの家にある食材で調理をすることで、料理のレパートリーが広がることもあります。代表として、ヘルパーさん達の生活を支えることも、大変ですがやりがいとなっています。



問1 仕事内容と福祉業界に就職をされた理由を教えてください。

知的障害の方が暮らす入所施設で、入浴介助など生活全般のお手伝いをしています。まだ2年目なので、対応の仕方戸惑うことも多いですが、周りの職員さんが丁寧に教えてくれるので安心です。

福祉系大学在学中に、実習先の余暇活動で障害のある方と一緒に作品を作り上げたことがとても楽しく、私が関わったことで、少しでも充実した時間になったのではないかなと感じました。この体験をきっかけに、障害ゆえに生活で難しいところを手伝える、この職場への就職を決めました。

社会福祉法人恩賜財団東京都同胞援護会「さやま園」
鈴木喜さん

問2 どのような時にやりがいを感じますか。

年長者が多いので、障害があっても、長く生きてこられた分料理が驚くほど上手だったり、長くここに住んでいるので、私の方が教えてもらうこともありすごいと感じます。生活している中で、楽しかったことを一緒に語り合ったり、絵に描いてくれたりと、日常的なやりとりがとても楽しいです。自分と年の近い20代の方もあるので、グループで若い人も楽しめることを提案する等、私のできることもしていきたいです。



社会福祉法人東京都社会福祉事業団「グループホームけやき・かえで」
野村悠介さん

問1 仕事内容と福祉業界に転職された理由を教えてください。

重度知的障害者のグループホームで働いています。必要に応じて5カ所のホームに行き、直接利用者さんの日常生活のお手伝いをします。各グループホームの世話人さんのフォロー、支援の助言もしています。週1日の夜勤や利用料の管理、請求事務もしています。ここ数年できた市内2カ所のグループホームには、立ち上げから関わりました。

以前はスーパーに勤めていましたが、もっと人の人生に直接関わる仕事がしたいと思ひ、資格をとって転職しました。実際に今その願いが叶っていると思ひます。

問2 どのような時にやりがいを感じますか。

個々のペースにあわせて時間をかけて関わることで、できなかったことができるようになることがあり、利用者さんの変化に立ち会えた時です。また、利用者さんにとっては家庭そのものなので、その方の生活や人生全般をお手伝いしている実感があります。一緒に行事をすることも楽しいですし、それが地域の方に知ってもらう機会にもなったらいいと思ひます。

○福祉のしごと 相談・面接会の開催

市内の福祉施設・事業所（障害・高齢・保育など）で働ける求人があります。フルタイム、パートタイムなど雇用スタイルも様々です。どうぞお気軽にご参加ください。

- ・日にち
令和2年2月8日（土曜日）
- ・時間
午後1時から4時まで
- ・場所
東村山駅西口サンバルネ内「コンベンションホール」（ワンズタワー2階）

- ・対象者
福祉の仕事を探している方（福祉の資格をお持ちでない方でも参加できます）
- ・参加方法
申込不要、参加費無料、服装自由、入退場自由、相談のみも可

主催 東村山市社会福祉協議会、東京都福祉人材センター

問い合わせ先
障害支援課
【東村山市障害者自立支援協会事務局】
東村山市基幹相談支援センター「るーと」